

# 校長室の窓から

令和2年 7月 8日

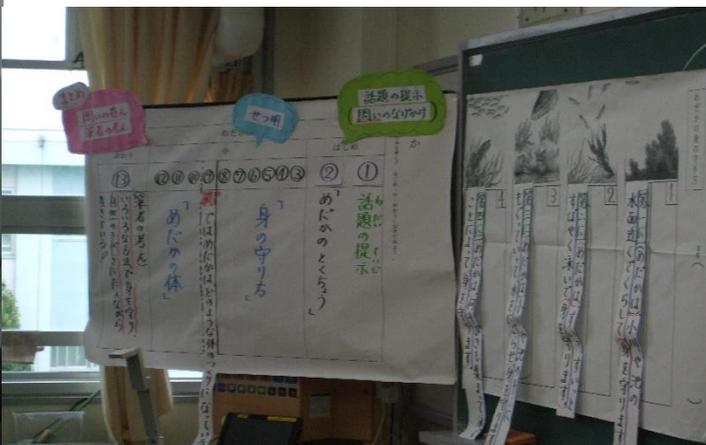
江戸川区立西小岩小学校 校長 則岡 小織

## 月2回の土曜授業が始まります

7月より、第2, 4土曜日を原則とした月2回の土曜授業が始まります。これは、新型コロナウイルス感染症防止のための臨時休業による授業日数の不足を解消するためのものです。土曜授業は時程が異なるので注意してください。8:25 朝の会(出欠・健康観察)、8:30に1校時が始まり、4時間学習して12:00完全下校となります。土曜授業日を確認してください。

1日(水)に3年生の研究授業を行いました。今年度は「国語」を研究教科として取り組んでいます。国語の中でも「読むこと(説明文)」に絞って進めています。ここで、子どもたちに身につけさせたい力は、「論理的コミュニケーション能力」「情報整理力」です。国語に限らず他教科でも問題を読み取れないため基礎的な力があっても正解にたどり着けないことが多く見られます。正確に読み、自分の考えを相手にわかるように表現できる子を育成するために「国語」を核にしていくことにしました。今、求められている「論理的思考力」「論理的文章力」の育成にも説明文は最適です。一斉登校開始からの短期間で3年生は説明文「めだか」に挑戦しました。一見楽しそうに泳いでいるめだかにも、実は大変な苦勞や不思議なことがあります。文章を読みながら子どもたちは自分の力で身の守り方や特徴を見つけ、自分の言葉で伝えていました。この積み重ねが子どもたちの力となっていきます。文章の構成に気づき、自分が説明する文章を書くときに生かされていくことが最終的な力です。また、様々な不思議を知って、さらに知りたい、調べたいという気持ちがわいてきたらしめたものです。きっと、図書館へ行って本を読むでしょう。読書へとつながり、知識や語彙が増えると共に情報を活用する力もついてきます。今年1年間、「読む力」を育てていきます。次回は9月、5年生です。

【3年生の授業】 段落構成の見える化で、子どもたちも分かりやすく学べました。



# 世界への扉を開こう

「ビデオチャット」を通じて交流の輪を広げよう

平成 31 年度、令和元年度の 2 年間、江戸川区の研究課題推進校として「外国語・外国語活動」を研究してきました。今年度からは、3 年生以上は外国語専科が授業を行っています。これも西小岩小学校の特色の一つです。外国語専科による系統的な指導を行うことで確実に力がついていきます。2 日(木)には 6 年生の学習「世界への扉を開こう」で、オーストラリアの小学校 (Holy Rosary Catholic School) とチャット交流をしました。

オーストラリアについて理解を深め、同年代の子どもたちとビデオチャットすることを知り、自分の考えや気持ちを伝える準備を事前にして当日に臨みました。外国語専科・ALT とのやり取りとは違った緊張感の中で何とか伝えたり、リアクションをとったり、ドキドキ感の中で楽しく交流していました。「伝えたいのに何ていったらいいのかわからない。」「英語でもっと話せたらいいのに。」と子どもたちが思ったらこの体験が生きてくると思います。初めての試みでしたが、季節は冬、時差 1 時間の遠い国とビデオを通して交流できたことは大きな、貴重な体験となりました。

